



Kaihou
Kawakou
P T A

発行 福島県立川俣高等学校父母と教師の会
代表 斎藤智朗
編集 P T A 調査広報委員会
印刷 川俣町飯坂字諷訪山1 TEL 024-566-2121
発行日 株式会社 川俣活版所
令和元年12月23日

かえで祭「大運動会」 1
川高生の「スマホ・お金事情」 2・3
「川俣高校について」の
アンケート結果
川高生が大活躍!
～インターハイ・技能検定～ 4・5
インフォメーション川高・ 6
進路だより・編集後記

2019 かえで祭 大運動会

110年の伝統を誇る川高で
眩しいほどの
若さをぶつけろ川高生!

3年に1度の大運動会
11月6日(水)、本校第一体育館にてかえで祭大運動会が行われました。今年のかえで祭は3年に1度行われる大運動会です。生徒たちは若さあふれるパワーでとても楽しんでいました。

先生方も多数参加していただき、生徒たちとのコミュニケーションも図られ、とても有意義なすばらしい大運動会となりました。

約3年前の運動会と比較して

生徒たちの明るい笑顔や真剣なまなざしを見ていると、ふと約3年前の川高かえで祭を思い出しました。当時は全校生徒が1000人を数えた大規模校で、運動会(当時は体育祭と呼んでいた)は大いに盛り上がりました。部活動対抗リレー、応援合戦などが懐かしい。

小規模校の利点を生かして

人数が少ないからこそ友情が大きく芽生え、たった3年間の高校生活がより大きな人生の糧となる。とてもすばらしいことだと思います。

います。

小規模校ならではの貴重な経験ができた川

高かえで祭大運動会。生徒たちにはとてもすばらしい思い出として心の中に残つたことでしょう。今後の長い人生の中で、川高の大運動会がとても楽しかったと思えるすばらしい大会



もみじ 伝統香る紅葉が丘に 希望に燃えてああ集ひ来ぬ ～川高讃歌より～



私は今年のかえで祭で実行委員長を務めました。今年は運動会で障害物競走、綱引きやリレーなどを行いました。学年をまたいでのチーム編成でしたが、学年に関係なく応援をしたり会話をしたりしてとても楽しんでいるように見えました。1ヶ月前から仲間と一緒に懸命準備してきたので、何よりも皆さんに笑顔で楽しんでもらえたことが嬉しかったです。最後には有志発表があり、3年生を中心にして、普段の学校生活では見ることができない皆さんのおかげで、とても楽しめました。また、かえで祭の成功のために協力していただいた先生方や仲間に実行委員長としても感謝しています。

私が当日特に思い出に残っているのは、自分が担当した鉛取り競争です。かなり工夫して作った仕掛けですが、なかなか鉛を探し出せずに苦労する人が多く、嬉しいような申し訳ないような気持ちになりました。一日を通して、競技に参加する皆さんの生き生きした表情や、それを見守る観客の皆さんの歓声は、今でも忘れられないくらい、大変思い出になりました。次回のかえで祭も、今年以上に楽しいものとなるよう頑張ります。

かえで祭実行委員長
普通科3年
川里 蘭

稻 章

PTA会報(第168号)



校章の由来

本校の校章は菱田に稻穂金光燐燐たる一束の稲穂が累々として、誠にめでたいものである。

我々は、我が校を世界米作の模範地とすると共に米作を拡張して我が校の紋章の光輝をますます発揚させようとするものである。

テーマ

「～つなぐ～」



宮城県小牛田農林高等学校

目 次

- P 2 生徒・保護者・地域をつなぐ
『稻章祭(生徒編)』
- P 3 目指せゴール!
『持久走大会(生徒編)』
- P 4 『稻章祭・持久走大会
(PTA奮闘記)』
- P 5 農林130周年
- P 6~7 はばたく農林生
- P 8~9 部活動・愛好会紹介
- P 10 卒業生にインタビュー
- P 11 進路状況・決定者より
- P 12 PTA委員会活動報告・編集後記

化学部



野球部



総合学科



笑顔の輪広がれ

美術部



文芸部



~約130年の歴史~

大盛況の

稻 章 祭

10月19日・20日



弁論大会



クラス発表



一般公開



稻 章 祭

前生徒会長 遠山 綾菜

今年の稻章祭では、平成最後ということもあり前年以上に全校生徒の気合いが入っていました。全校制作として、各クラス協力してステンドグラスを作り、一般公開で飾りました。一般公開では、農業科学コースの野菜やお肉の販売、体育館で行われた男装女装コンテストやカラオケ大会など、一般の方や保護者、生徒共に好評でした。

校内発表・一般公開の2日間にわたっての稻章祭は素晴らしいものになりました。来年の稻章祭にも期待したいです。

★ ★ ★ ★ ★





持久走大会



各学年男女別優勝者

3学年男子	畠山 瑠斗
2学年男子	久喜 隆平
1学年男子	高橋 幸翔
3学年女子	佐藤 優奈
2学年女子	八嶋 莉恵
1学年女子	松田 小雪

先生も
がんばった!!



持久走大会
3年3組
畠山 瑠斗



高校生活最後の持久走大会で1位をとることが出来て良かったです。部活動を引退してから運動する機会が減り、体力が持つか不安でしたが、走っている途中での先生方や友人からの応援が力となり最後まで走りきることができました。1年生から3年生まで入賞することができ、最後に1位をとることができたのは私の大切な思い出です。

保護者の方々、先生方ご協力していただきました。ありがとうございました。



最後の持久走大会
3年4組
佐藤 優奈

私は、高校生活最後の持久走大会で優勝することができ、とても嬉しかったです。1年生、2年生共に2位という結果で、毎年1位になることができず悔しい思いをしましたが、最後まで諦めずに走りきり、優勝することができました。進路の関係もあり、部活動に行くことが少なく、体力に不安がありました。最後の年に優勝することができて良かったです。

PTA奮闘記

大にぎわいの稻草祭



「PTAバザーに参加して」 三浦 あけみ (3-2 日奈乃母)

娘が入学してから毎年PTAバザーに提供するようになりました。お陰様で、不用品を片付けることが出来ました。

今年は、お世話になっている学校、私に片付けをさせてくれたPTAバザーへの「感謝の気持ち」で、お手伝いすることにしました。

初めて参加し、地域の方たちが沢山来られるのに驚きました。また、役員の皆さんの接客が温かく、地域の方と学校をつないでいて、「ステキ」なPTAバザーだなあと感じました。これからもPTAバザーを続けていって欲しいと思います。

「ようこそ！PTAティールームへ」

斎藤 清美 (3-4 ひまり母)

PTAティールームは無料でコーヒーやお茶などの飲み物とお菓子でおもてなしをして毎年多くの皆様や生徒たちで賑わう所です。

会場を花紙や風船で華やかに飾り付けをして皆様に楽しんでいただける工夫をしています。

今年は花紙で作ったまくろくろすけと写真が撮れるコーナーやプロジェクターを使ったスライドショーが人気でした。「毎年、楽しみに来ているよ。」このようなちょっとした会話も楽しみのひとつです。交代でお茶出しをするので、休憩の合間にバザーなども見ることが出来ました。PTAの方や先生方とも交流できとても楽しく参加できました。



「子供達の笑顔の先に」

高泉 美和 (3-1 大輝母)

私は今回初めての参加でした。息子が3年生最後という事もあって、何とかPTA活動に協力したいと思い参加しました。

前日の野菜の準備では、想像以上の野菜と麺の量に驚きました。暗くなるまで、明日の美味しい焼きそばが出来るようにと願い野菜を切りました。当日は天候にも恵まれ、焼き班、パック詰め班、豚汁班に分かれ、私はパック詰めをしました。経験者からのアドバイスをもらい、学年関係なく和気あいあいと作業することが出来ました。これからも出来るだけ多くの皆さんのご協力によりこの行事を盛り上げていって欲しいと思いました。

持久走大会やきそば隊



焼きそばの材料には、
小牛田農産の
お肉(しもふりレッド)や
野菜が
ふんだんに
使用されています。



祝130周年



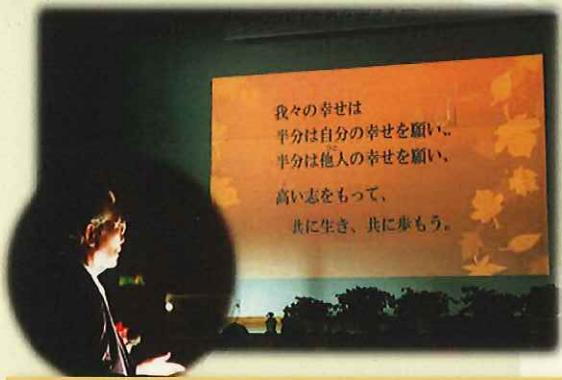
式典のしおり



記念誌



記念品(タオル)



《記念講演》

「高い志をもって～共に生き、共に歩もう～」

国士館大学前学長 三浦 信行 氏

(小牛田農林高校昭和37年3月卒)

昭和61年、私は本校に入りました。当時剣道部の顧問であり父の後輩でもあった宮澤保行先生のお宅に下宿をし、日々緊張の中で高校生活を過ごしたことを思い出します。

ある日、先生からこんなことを言われました。

「圭介、勉強出来んのど頑いいのどは違うんだぞ！」

どんな場面だったのかは忘れてしまいましたが、30年を過ぎた今も頭から離れることがありません。

「剣道が強くても勉強ができない、それだけでは何の役にも立たないのだ。学んだ事を世の中のためにも使える人になりなさい」

師の教え、母校の教えが詰まった言葉として、これからも反芻しながら日々を過ごしていきたいと思います。

師の教え 佐藤 圭介 (雪乃父)

「一隅を照らす」

3年3組 佐藤 雪乃

小牛田農林に入学して早3年が経ち、130周年という節目の年に卒業できることをとても嬉しく思います。

私が高校生活で一番力を入れたことは部活動です。本校の歴史ある剣道部で「一隅を照らす」という考えのもと、日々の稽古に励んできました。一隅とは、今自分がいる場所や置かれた立場のことをいい、その場所で精一杯努力をすることが全体に良い影響を与えるということです。今後社会人として働くに当たって、小牛田農林で学んだたくさんのことを活かし、社会の一隅を照らせるような人になりたいです。

家族三代 農 林



五十五年の御縁

佐藤 澄男 (雪乃祖父)

昭和38年入学ですから、55年経ちますね。小牛田農林との御縁は、弟までは別に珍しく無い例ですし、息子2人までは他にもある。しかし、7年前に孫長男、それに続いて2人の孫娘も続くとなると中々見つからないでしょう。半世紀に一家から7人がお世話になるということは、「他の学校知らないの」と聞かれても困る。別に無理強いした訳じゃないし、共通するものは「剣道」。私たちの代は高橋要先生に小澤先生、息子達には宮澤先生と「オヤジ」が居た。孫達には気は優しくて力持ちの充伸先生。人間形成学校、小牛田農林。時代を超えて栄えあれ！

農林生



頃で乗り越えた。
・頑張れ、楽しかった。



皆さんは、三年間でたくさんの成長を見ることができました。私は、ソフテニス部に所属し、部活動で毎日忙しい日々を送っていました。最初の頃は、思つような結果が出ず苦しい時期もありましたが、それを乗り越えられたのは両親や仲間が支えてくれたおかげであり、本当に感謝しています。そして最後の地区総体では、団体戦優勝という大きな結果を残すことができました。努力は必ず報われるということを実感でき、私にとって最高の思い出になりました。

部活動を通してたくさんの仲間と出会い、先生からは礼儀や社会に出て必要な知識など技術以外のことも学ぶことができ、ソフテニスを選んで良かったと思っています。これらもこの経験をいかし、一生懸命頑張りたいと思います。三年間本当にありがとうございました。

祝 卒業

大友 文月子（三学年主任）

皆さんにとって、小牛田農林で過ごした三年間はどんなものになりましたか？

皆さんと出会ってからの月日を振り返ると、あつという間だったという印象が強いです。さまざまな行事をともに経験し、部活動やクラスなどで「自分」を見いだしていく姿を近くで見ることができ、幸せでした。

皆さんには、卒業後も小牛田農林のOBとして誇りを持ち続けてほしいと思います。三年間ありがとうございました。

そして、心も体も健康でいてください。皆さんの今後の活躍を期待しています。

最後に、保護者の皆さんには感謝申し上げます。三年間ありがとうございました。

「三年間を振り返って」

三年一組 大衡 世奈

大衡 潤（世奈 父）

三年二組 木村 優太

木村 優太

「小牛田農林を思う」



卒業生の皆さんおめでとうございます。私も平成二年の卒業生の一人です。二年前、息子が卒業、今年娘が卒業ということで、親子三人一組同窓会が出来た実習、部活動のソフテニスに一生懸命取り組んでいました。その姿勢に感動させられることもありました。三年間、学んだことや経験したことを「農林魂」と思いました。その後のステップに役立てて欲しいものです。

最後に、「指導いただきました先生方に御礼申し上げます。

ありがとうございました。

小牛田農林に入學し先生方のご指導や最高の仲間たちにも出会い、たくさんの方々に応援をしていただき、そして二年間毎日送り迎えをしてくれた親のおかげでたくさん成長ができ、卒業することができます。今まで本当にありがとうございました。

感謝

木村 憲一（優太 父）

「農林で正しい剣道を学びたい」という思いで入学し毎朝仙台から通学した息子も無事に卒業の日を迎えることができました。素晴らしい同級生や先輩、後輩に恵まれ、みんなに支えられながら「日本一」を目指し剣道に打ち込む息子の姿を見て心身共に成長したと感じることができました。小牛田農林で多くの人と出会い色々と学んだ事をこれから財産として感謝の気持ちを忘れずに大学でも目標に向かって頑張ることを願っています。最後に、ご指導下さった先生方、見守つて下さったご父兄の父々、支えてくれた剣道部員に心から感謝いたします。

「三年間を通して」

三年五組 土井 佑真

「感謝の気持ちを忘れずに」

三年一組 吉田 歩夢

吉田 歩夢

第69回日本学校農業クラブ全国大会報告 意見発表会 優秀賞

私は、十月二十四・二十五日に鹿児島県で行われた農業クラブ全国大会意見発表会に出席してきました。私はI類（農業の生産・流通・経営に関する意見を発表する分野）で「畜産への新規就農」をテーマにした発表をしてきました。先生方からのご指導や、仲間の応援があり優秀賞を受賞することができました。

あと一步のところで日本一は逃してしまいましたが、校内予選から全国大会に至るまでの思い出や努力の日々は私の一生の宝物です。

平板測量競技会 優秀賞

三年一組 小松 秀徳

全国の農業高校には、農業クラブというものが存在します。農業クラブでは、平板測量競技や家畜審査競技などその他にも様々な活動が行われています。ここで紹介する平板測量競技とは三人一組で行われる競技で三脚を取り付けた平板上に紙を貼り付け、アリダードという観測方向線の向きを求める視準線の見出で引出し、用意した立置きを

はばたく



苦しく辛いことも笑顔 家族・仲間がいたからこそ

小牛田農林高校で過ごした三年間は、とても充実したもので、私にとって宝物の時間です。一年生の頃、私は勉強も学校生活もおろそかで先生方や家族、周りの方々に言葉を表しきれないほど沢山迷惑をかけてしまっていました。自分自身も何度も悩み、苦しんだこともあります。しかし学校行事をはじめ、友達と一緒に思出ができ、こうして無事、三年間を終えようとしています。この高校生活で、私がここまでくることができたのは、今まで見捨てず、いつも助けてくれた友達、先生方、母、周りの方々のおかげです。とても良い方々との出会いに恵まれ、成長できた幸せな三年間でした。農林で学んだことを糧にして、進学先でも頑張っていきます。

三年間、本当にありがとうございました。特に野球部として活動した時間はかけがえのないものになりました。特に野球部として活動した時間はかけがえのないものになりました。最も思い出に残っています。挨拶や私生活がしっかりとしない事を教わり、社会に出る上で何が必要か実感することができました。以上の事を教えて下さった先生方、引退まで共にプレーしたチームメイトには、とても感謝しています。

私が小牛田農林生として過ごした三年間はかけがえのないものになりました。特に野球部として活動した時間はかけがえのないものになりました。最も思い出に残っています。挨拶や私生活がしっかりとしない事を教わり、社会に出る上で何が必要か実感することができました。以上の事を教えて下さった先生方、引退まで共にプレーしたチームメイトには、とても感謝しています。

また、ここまで私を育ててくれた両親にも感謝の気持ちで一杯です。進学返しができるよう努力します。三年間ありがとうございました。

充実した高校生活

三年四組 佐々木 峻

小牛田農林高校で過ごした三年間は、とても充実したもので、私にとって宝物の時間です。一年生の頃、私は勉強も学校生活もおろそかで先生方や家族、周りの方々に言葉を表しきれないほど沢山迷惑をかけてしまっていました。自分自身も何度も悩み、苦しんだこともあります。しかし学校行事をはじめ、友達と一緒に思出ができ、こうして無事、三年間を終えようとしています。この高校生活で、私がここまでくることができたのは、今まで見捨てず、いつも助けてくれた友達、先生方、母、周りの方々のおかげです。とても良い方々との出会いに恵まれ、成長できた幸せな三年間でした。農林で学んだことを糧にして、進学先でも頑張っていきます。

三年間、本当にありがとうございました。

出会いを大切に

佐々木 真理（峻 母）



人は人との出会いによって、喜びや悲しみ楽しさを覚え、そして人として成長することができるものと著れます。息子は、小牛田農林高校で過ごしたこの三年間で、一生の宝となる「出会い」がたくさんありました。クラスメイトや担任の先生を始めとする多くの先生方。そして、三年間喜びも悲しみも共に味わい、大きく成長することができた野球部の仲間たち。「の一つの出会いにより息子は、充実した高校生活を送ることができたと思います。ここで出会ったは親の私たちにとってもかけがえのない宝物です。これからもこの出会いに感謝し、そして忘れずに成長していくほしいものです。

今まで、陰で支え、見守っていた多の方々に感謝いたします。ありがとうございました。

私は自身、全ての作業が終わるまで自己採点を行つたところ、この点数では賞はもらえないけれども諦めていたので、「優秀賞」をもらえた時は素直に嬉しかったです。しかし、今思ひ返してみると最優秀賞を狙える位置にいたのではないかと少し悔しい思いもあります。この全国大会は三年間で一番楽しめた大会だと思います。

稻草祭に参加して

土井 美紀（佑真 母）

今年は、初めて稻草祭参加となりました。これまでの二年間は息子の部活の大会と重なり参加できませんでしたが、今年は役員を担当させて頂くことになり、係として参加致しました。前日に集まり、バザーなどの値付けなどの準備を行いましたが、役員の皆さんの手際の良さに圧倒されました。当日は、朝からバザーを担当しながら展示などの見学もする事ができました。お昼には相撲部の「ちゃんこ」を頂きとても美味しかったです。多くのお客様が来校されて活気ある稻草祭でした。皆さんと楽しい時間を過ごすことが出来ました。ありがとうございました。

十月二十四・二十五日に鹿児島県で行われた全国大会に平板測量競技の部として出場してきました。三年間平板測量をやってきて、念願の全国大会に出場出来たので、最後の競技という結果、優秀賞は逃しましたが、優秀賞をもらうことが出来ました。

この賞をとれたのは、今まで指導して下さった先生方と仲間のおかげだと思います。三年間ありがとうございました。

自分が希望した高校へ入学できただのに、スタートしたのはルーズな高校生活。規則を守れない、反対的な態度の日々。本人もこんなはずじゃないのにと悔やんだことがあります。親子で気持ちがあつたでしょう。親子で気持ちがあつたので、親子を先生方は温かく励ましてください、友達にも恵まれ、いつも支えてくださった皆様、本当にありがとうございました。そんな私たち親子を先生方は温かく励ましてください、友達にも恵まれ、いつも伝わらず、何度もいがみ合い泣いた日もありました。そんな私たちは、高校生活で、これがここまでくることができたのは、今まで見捨てず、いつも助けてくれた友達、先生方、母、周りの方々のおかげです。とても良い方々との出会いに恵まれ、成長できた幸運な三年間でした。農林で学んだことを糧にして、進学先で頑張っていきます。

優にとつてこの三年間が実りある高校生活であったと信じています。支えてくださった皆様、本当にありがとうございました。親子を先生方は温かく励ましてください、友達にも恵まれ、いつも伝わらず、何度もいがみ合い泣いた日もありました。そんな私たち親子を先生方は温かく励ましてください、友達にも恵まれ、いつも伝わらず、何度もいがみ合い泣いた日もありました。そんな私たちは、高校生活で、これがここまでくることができたのは、今まで見捨てず、いつも助けてくれた友達、先生方、母、周りの方々のおかげです。とても良い方々との出会いに恵まれ、成長できた幸運な三年間でした。農林で学んだことを糧にして、進学先で頑張っていきます。

三年生の時にはインターハイで入賞することができ、多くの人とコミニュニケーションをとることができます。この小牛田農林高校で三年間を通して学んだ経験を、これから社会生活で活かせるようにしたいです。

今年一組 遠山 綾菜

今年は、初めて稻草祭参加となりました。これまでの二年間は息子の部活の大会と重なり参加できませんでしたが、今年は役員を担当させて頂くことになり、係として参加致しました。前日に集まり、バザーなどの値付けなどの準備を行いましたが、役員の皆さんの手際の良さに圧倒されました。当日は、朝からバザーを担当しながら展示などの見学もする事ができました。お昼には相撲部の「ちゃんこ」を頂きとても美味しかったです。多くのお客様が来校されて活気ある稻草祭でした。皆さんと一緒に楽しい時間を過ごすことが出来ました。ありがとうございました。

十月二十四・二十五日に鹿児島県で行われた全国大会に平板測量競技の部として出場してきました。三年間平板測量をやってきて、念願の全国大会に出場出来たので、最後の競技という結果、優秀賞は逃しましたが、優秀賞をもらうことが出来ました。

この賞をとれたのは、今まで指導して下さった先生方と仲間のおかげだと思います。三年間ありがとうございました。

十月二十四・二十五日に鹿児島県で行われた全国大会に平板測量競技の部として出場してきました。三年間平板測量をやってきて、念願の全国大会に出場出来たので、最後の競技という結果、優秀賞は逃しましたが、優秀賞をもらうことが出来ました。

この賞をとれたのは、今まで指導して下さった先生方と仲間のおかげだと思います。三年間ありがとうございました。



ソフトボール部
2年5組 大場 葉菜
走る攻撃「走撃」を武器にインターハイ出場を目指して頑張ります！



自転車競技部
1年5組 佐々木 大輔
人数は少ないですが、良い結果を残せるように頑張っていきます。



サッカー部
2年2組 氏家 悠太郎
「県大会出場」を目標に練習に励んでいきます。

抱負 &一言



男子剣道部
2年5組 成田 恒大
「日本一」という目標を掲げ、日々稽古に取り組んでいます。



女子剣道部
2年2組 八嶋 莉恵
私達は、先輩方の思いを背負って、日々の稽古に励んでいます。



男子バスケットボール部
2年2組 高橋 郁哉
自分たちのプレーをしっかりして、一試合でも多く勝つ。



女子バスケットボール部
2年3組 目々澤 ひなた
チームの勝利のために仲間と協力しながら最後まで諦めずに頑張ります。



弓道部
2年1組 阿部 奏斗
一射絶命、千射万箭。常に集中し、一本一本を大事に射る。



柔道部
2年2組 但野 智哉
チーム一丸となって目標に向かって頑張ります。



男子バレー部
2年1組 小澤 和弥
仲間を信じてこれからも頑張ります。



女子バレー部
2年3組 元木 咲奈
「自分たちのバレーをする」という気持ちを忘れず、頑張ります。



相撲部
2年2組 下山 謙信
全国入賞を目指し、日々不撓不屈の精神で頑張っていきます。



男子ソフトテニス部
2年2組 佐藤 輝希
チームが一丸となり、念願のインターハイ出場を目指し、頑張っていきたい。



女子ソフトテニス部
2年4組 駒井 璃緒
明るく、楽しく、元気に、県大会ベスト8を目指し頑張ります。



2年2組 高橋 嶽馬
「上位大会入賞」という目標を掲げ、練習に取り組んでいます。



2年2組 久喜 隆平
「謙虚にひたむきに元気よく」をスローガンに、日々の練習に励んでいます。



2年3組 今野 莉沙
チームとしてまとまり、個人でも活躍できるよう日々努力する。



2年3組 佐藤 理子
3年生が抜けて人数は少なくなりましたが、一致団結して取り組んでいます。



2年3組 男澤 みく
楽しく部活動を行い、良い成績を残せるよう努力したいと思います。

部活動 & 愛好会紹介



2年1組 小林 芽依
白い絵の具を次につなげられるように使いすぎない。



2年1組 八木 俊介
「生徒理科研究発表会」で良い成績を残す。



3年4組 田中 夢翔
これから活発な部活動になるよう頑張ってください。



2年5組 菅原 駿人
個性を最大限に生かして、自分の思う最高の1枚を撮影する。



2年5組 千葉 琴羽
先輩方に負けないくらいたくさん賞をとりたい！



2年4組 菅原 花南
もっと部活動を活性化させ、楽しく活動する。



2年1組 阿部 未奈
スローガン 「二人五脚」。どんな時でもパートナーの牛を信じて



2年1組 棚澤 愛香
生き物に触れ、命の大切さを学んでいく。



佐藤 大地さん

【平成26年度卒業 学科／農業技術科(農業科学コース)
職業／農場技師(宮城県農業高校勤務)】

- 質問1** 高校卒業→タキイ研究農場付属園芸専門学校→小牛田農林高校臨時技師→宮城県農業高校農場技師
- 質問2** 剣道部に所属していました。厳しい部活でしたが3年間続けられたというのは今でも自信につながっています。また、挨拶や目上の人に対する話しかなど社会に出たときに役立つことをたくさん教えていただきました。
- 質問3** 早い段階から進路を決めておけばよかったと感じています。高校1・2年生の時は、ただ漠然と農業をやりたいとしか考えていました。早い段階から考えてしまつかり勉強をしておけば、もっといろいろなことにチャレンジできたのではないかと考えることもあります。高校3年間は長いようでいてとても短いです。悔いの残らないようしっかりと考えて進路実現に向けて頑張ってください。
- 質問4** 人と話すことの大切さを感じました。複数人で行う仕事が多いので、意思の疎通ができていないと作業が滞ってしまいます。それがわかってからは、打ち合わせの段階でしっかりと話をして、わからないことや疑問に思ったことがあればすぐに確認するということを意識して仕事をするようになりました。
- 質問5** 私は縁あって2年半、小牛田農林高校で働かせてもらっていました。その時にいらっしゃった先生方のおかげで今の職場でも働くことができています。進路や学校生活で悩んだらまず先生方に相談してみてください。必ず皆さんの力になってくれると思います。また、昨年まで皆さんを見てきましたが、明るく元気に実習や部活に励む姿はとても素晴らしいなと感じていました。これまで通り楽しく学校生活を送ってください。皆さんの活躍を期待しています。



卒業生に インタビュー

大畠 空宇さん

【平成26年度卒業
学科／農業技術科
(農業土木コース)
職業／大相撲】

- 質問1** 大相撲
- 質問2** 相撲部
- 質問3** 少し恥ずかしがり屋だったので積極的にいろんな行事に参加すればよかったです。
- 質問4** 基本的な挨拶とか目上の人との接し方とか社会に出て最低限必要なことを高校のときからずっと習慣づけてやれば社会に出ても恥ずかしくないと思いました。
- 質問5** 自分の夢に向かって1日1日大切に諦めず自分のために頑張っていきましょう。



菅野 豊博さん

【平成4年度卒業
学科／農業科 職業／農業】

- 質問1** 宮城県農業実践大学校畜産学部→株野本畜産(牛肉卸)→宮城県畜産試験場
- 質問2** ラグビー班(当時は部活を班と呼んでいた)
- 質問3** もう少し勉強して大学に行きたかったです。
- 質問4** 人との付き合いをうまくすることで良くも返って来るし、悪くも返ってくる。困ったときの助け合いは大事だということ。若いうちに苦労は買ってでもしろと言われましたが、40歳を過ぎると本当だなと思います。いろいろな壁にぶつかりますが、それを乗り越える引き出しが増え、力になるからです。社会に出るとあっという間に時間が過ぎるので一日一日を大事に楽しむ過ごしてください。

【卒業年度 卒業学科 現在の職業】

- 質問1** 高校卒業から今までの進路を教えて下さい。
- 質問2** 高校生の頃の部活動は何でしたか?
- 質問3** 高校生活でやっておけばよかったことはなんですか?
- 質問4** 社会人になって感じたこと、学んだことはなんですか?
- 質問5** 後輩へのメッセージをお願いします

三神 千晶さん

【平成28年度卒業
学科／総合学科 職業／事務】

- 質問1** 高校を卒業してすぐに就職しました。
- 質問2** 女子バレーボール部
- 質問3** 社会人になるとなかなか資格を取る機会がないので、高校生のうちに積極的に取得しておけば良かったと思います。
- 質問4** 仕事の面ではもちろんですが、お金の使い方など全て自分で管理していかなくてはならないので、何をするにも責任感を持って行動するようになったと思います。
- 質問5** 高校の3年間はあっという間なので、悔いの残らないように、キラキラした高校生活を思いっきり楽しんでください!



今年度の進路状況について

進路指導部長 向井 真

就職については、宮城県教育委員会高校教育課の発表によるところ、12月末時点で内定者数は4,189人(前年同月99人減)、内定率は92.17% (同1.3%減)。新規高卒者への県内求人受付数11,345人(宮城県労働局・職安学校紹介数のみ)。求職者数は3,133人となっています。本校での内定率は12月19日現在で100%となりました。今年度の傾向としては、昨年度と同様に好況に支えられ、求人数も昨年度よりも増加しました。就業地域別では本校生は地元志向が強く、大崎管内への就業希望が民間企業希望者の約7割を占めます。また、業種別では製造業が約半分を占めています。

公務員は14名(複数合格も入れると18名)が合格しました。この数はここ数年にはない多数合格となり、国家公務員一般職に2名(東北、関東甲信越)合格しました。他にも、宮城県3名、美里町2名、大崎市2名、栗原市1名など一般行政職への合格が多い結果となりました。今年度についても、1・2年次から公務員課外やガイダンス、面接指導に欠かさず出席する。公務員模擬試験を受験する。専門学校の夏季講習などに参加する等、積極的な取り組みが合格への決め手となっています。

進学に関しては、ここ数年の傾向として生徒数の減少により、進学者全体の数が減り学校を選ばなければ上級学校への合格は難しくない状況にあります。本校生は約5割がAO入試、4割が推薦入試での受験を希望しており、ほとんどが年内中に合格しています。今年の特徴としては、比較的合格が難しい四年制大学看護学部、高等看護学校への希望が多く、一般受験でチャレンジしています。高い志を持ち、自らが選んだ志望校へ挑戦する姿勢は1・2年生にも見習ってほしいと思います。

進路実現のために学校選択、職業選択はしっかりと行う必要があります。さらには一般入試でも必要とされる学力や、社会活動に積極的に取り組む。など普段の学校生活をしっかりと過ごす事が必要になります。子どもに最も近い位置にいる「人生の先輩」である保護者の方々には、今後も本校進路指導についてご理解のうえ、ご協力を願っています。

進路決定者から

「進路達成に向けて」

3年2組 平野 茉那

(国家公務員 農林水産省 東北農政局)

- 私は小さい頃から公務員になるのが夢でした。高校で土木について学んだ事や、リクルート講義などで話を聞いて、国家公務員の東北農政局で働きたいと思いました。夏休みに、友人と夏季講習に行ったりしました。そのおかげで、無事内定をいただくことができました。
- 高校卒業後は、社会人として働く事になるので、少し不安なことがあります。が、部活動や学校生活で学んだ事を活かし頑張っていきたいと思います。

「就職に向けて」

3年4組 鈴木 倭唯

(YKK AP㈱ 東北事業所)

- 私は、第一志望のYKK AP㈱から内定をいただくことができました。私が就職試験に向けて勉強や面接練習に取りかかるのが遅く今でも反省しています。しかし、そんな中でも時間が空いたら勉強をしました。また、面接練習では、同じ先生とはやらずに毎回別な先生に行っていただき、色々な質問にも答えられるようになりました。多くの人に支えられたからこそ、内定をいただくことができたと思うので、そのことを絶対忘れずに社会人として頑張ります。

「進学に向けて」

3年5組 石ヶ森 千尋

(東北福祉大学 保健看護学科)

- 私は第一志望の東北福祉大学の保健看護学科に合格することができました。面接もありましたが、文章を書くのが苦手だったため、小論文の方を重点的に行いました。ご指導をくださった先生方、いつも励ましてくれた友人や家族に感謝しています。大変なこともありましたが、周囲の方々の応援もあり頑張ることができました。
- これからは、勉強や実習など大変なこともありますが、精一杯頑張っていきたいです。

「自分の可能性を信じて」

3年1組 只埜 昌幸

(帯広畜産大学 畜産科学課程)

- 私は、帯広畜産大学に合格することが出来ました。夏休みが終わると、友達が次々と合格が決まっていくので、うれしさと共に、自分自身へのプレッシャーも日に日に大きくなっています。しかし、絶対に帯広畜産大学に入学したいという強い気持ちと、多くの指導をしていただいた先生方や、いつも応援してくれる家族や友達のために、「絶対に合格して恩返しする」という気持ちを持ち続けることで、試験勉強を頑張ることが出来ました。
- これからも、多くの人に支えられていることに感謝しながら、努力し続けます。

「公務員合格に向けて」

3年3組 佐藤 光留

(国家公務員 厚生労働省 東京労働局)

- 私は厚生労働省東京労働局に内定をいただきました。今まで勉強してきた成果を出すことができ、とても嬉しいです。また、面接練習や私の進路達成にかかわってくださった先生方には感謝の気持ちでいっぱいです。
- そして、春からは公務員として働く際には、国民の皆さんのために働くことはもちろんのこと、これまで応援して下さった方々へ恩返しの気持ちを持って働いていきます。1・2年生の皆さんも進路達成に向けて頑張って下さい。

「進路に向けて」

3年4組 二瓶 真理

(仙台青葉学院短期大学 栄養学科)

- 私が将来について考え始めたのは、高校3年生の夏休みでした。周りには、すでに決まっている人がいて焦りましたが、私はやりたいことを見つけることができたので、そのためには、頑張ることが出来ました。また、入試が近くなるにつれて、自分のことで精一杯になると思いますが、私は、みんな頑張っているから、頑張ろうと考え、乗り切ることができます。

将来について考えるのは、とても大変なことです。自分と向き合い、焦らず、自分のペースで、本当にやりたいことを見つけてみてください。

PTA委員会活動報告

PTA会報「稻章」 31.3.1 (12)



「活動を通じて」

健全育成委員長 小林 将 (3-2 琉人 父)

今年度の健全育成委員会の活動は、挨拶運動と生徒の皆さんのが育てた花を、公共の施設へ届けました。

挨拶運動では、朝のお忙しい中でのご協力ありがとうございました。知らない人への挨拶というのは、恥ずかしいのですが、生徒の皆さんには、私たちの目を見て挨拶をしてくれて、とてもすがすがしい気持ちになりました。日頃からのご家庭や学校の指導が行き届いている印象を受けました。将来、社会へ出た時に農林生として恥ずかしくないなと思いました。

また、年に2回、公共の施設やお店に学校で育てた花にメッセージを添えて届けました。届けに行った際には、とても喜んでいただきました。

このような活動を来年以降も続けて欲しいと思います。

「つながりのある委員会活動」

今年度の進路対策委員会の活動は、例年通り、研修旅行の企画と就職希望者生徒への模擬面接のお手伝いでした。

研修旅行では、今年は8月19日に、東北福祉大学を訪問してきました。その日は、オープンキャンパスで自由に見学が出来、音楽堂や美術工芸館が本格的に「感性



進路対策委員長 佐藤 真紀 (3-3 沙真亜 母)

豊かな人間力や社会力を高められる大学との説明の中、校内の活動を見る事が出来ました。午後からは、大崎八幡宮、そして仙台うみの杜水族館と有意義な一日になりました。

又、面接指導では、9月に2日間、先生方と一緒に模擬面接を行いました。一人一人真剣に自分の将来に向かって自分と戦う姿にエールを送りながら、活動の責任を感じる事が出来ました。

一年を通じて先生方のご協力の元、父兄のつながりや、生徒さんたちとのつながりを持つ委員会である事に、改めてPTA活動の奥深さを知る事が出来ました。

「つなぐ」

調査広報委員長 岩浅 忍 (3-3 愛珠 父)

調査広報委員会では、年2回、PTA広報誌「稻章」を発行しています。昨年の広報誌では、宮城県高P連広報誌コンクールで、優秀作品5選に入賞しました。今年は昨年の広報誌より良い広報誌を目指し、調査広報委員みんなで知恵を出し合い取り組んできました。

本校は今年、130周年を迎えることになりました。130周年の節目の広報誌のタイトルは「つなぐ」です。三世代に聞くというコーナーでは、親子、孫のつながり。部活動紹介では、先輩後輩のつながりなど、様々な場面で、様々な「つなぐ」を紹介出来たと思います。

年に2回発行の稻章を見たことが無いご父兄がいると聞きました。この一冊を見れば、PTAの活動の様子や、子どもたちの部活動での活躍、農業クラブや学校行事など、いろいろなことを知ることができます。親と親のつながりで、皆さんに見ていただければ幸いであります。



平成30年度
PTA調査広報委員会

事監会副委員長
会務局事計長
須須佐佐櫻鷹二杉目高佐菅只岩
藤田藤井賀瓶本黒瀬藤原塙浅
和仁早弘由加敏奈美光加
篠行枝苗幸里愛子美々哉子子忍



調査広報副委員長
只禁加代子

編集後記

